

海外競技会報告と スタート関連

全国会議用資料

競技運営委員会

海外の競技会事情 Budapest 2023

Competition Transfer of Knowledge by WA から抜粋

START LINE

Overview

The SIS was in use for **154 starts** during the 100m, 110mH, 200m, 400m, 400mH, 4x400m & 4x400m at the Budapest 2023. There were **27 start incidents**, which included any type of movement that may contribute to a false start, prior to, or during the report of the gun.

Of these 27 incidents there were:

- **8 races** that were not recalled
- **19 races** which were recalled

SIS使用スタート計**154**レース

内**27**件でスタートインシデント
(不正スタートの一因となる号砲前
や号砲時の様々な動きを含む)

この27回の内訳
撃ち戻しされなかったスタート**8**
撃ち戻したスタート**19**

海外の競技会事情 Budapest 2023

Competition Transfer of Knowledge by WA から抜粋

リコールされなかったスタート

START LINE

Starts Not Recalled

After the set command and prior to the start, the athlete(s) were observed moving (i.e. nervous leg movement, hips raised high)

In each instance, the athlete(s):

- did not disturb another athlete;
- did not continue into the command;
- did not activate the Seiko Start.

Without specific activity resulting in a recall, these races were not aborted or recalled.

Setの後や号砲前に競技者の動きがあった。
(頭の上下動、局所的な動き、腰の上下等)

それぞれの場合において

- 他の競技者を邪魔しなかった
- スタートの開始まで続かなかった
- SISを作動させなかった

不正スタートや懲戒事項(TR16.5)につながる動きがなければ中断やリコールをしなかった。

JTO研修会(2024.1.28)での関連質問

- 遅延行為は今まで通りYCでよいのか？
⇒ TR16.5.2の適用でYCを提示することができる
- SISがない場合はどのようにジャッジしていくのか？
⇒ 現場の審判で見たことを基に判断
- 局所的な動きをした競技者からの影響を、
レーンの遠近で判断は難しいのでは？

局所的な動きについて TR16.5.3

「・・・ On your marks または Set の合図の後、

- ~2017年「音声**その他の方法**で他の競技者を妨害した時」
- 2018年「音声や**動作**、~~その他の方法~~で他の競技者を妨害した時」



- 2021年東京オリンピックでIS(ESP)から「**打ち戻すのはBig movementのみ**」



- **2023年WAにより修改正。解釈が大幅に変更された。**

ツイッチ(局所的な動き)は打ち戻してYC by WA

TR16.5.3修正内容

- 「On your marks または Set の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害し、**その結果、その選手が不正スタートを生じさせた時**」にYC適用

WAの改訂理由

この規則は、世界中のスタート審判長（およびスターター）を務める審判によって異なる方法で解釈されている。

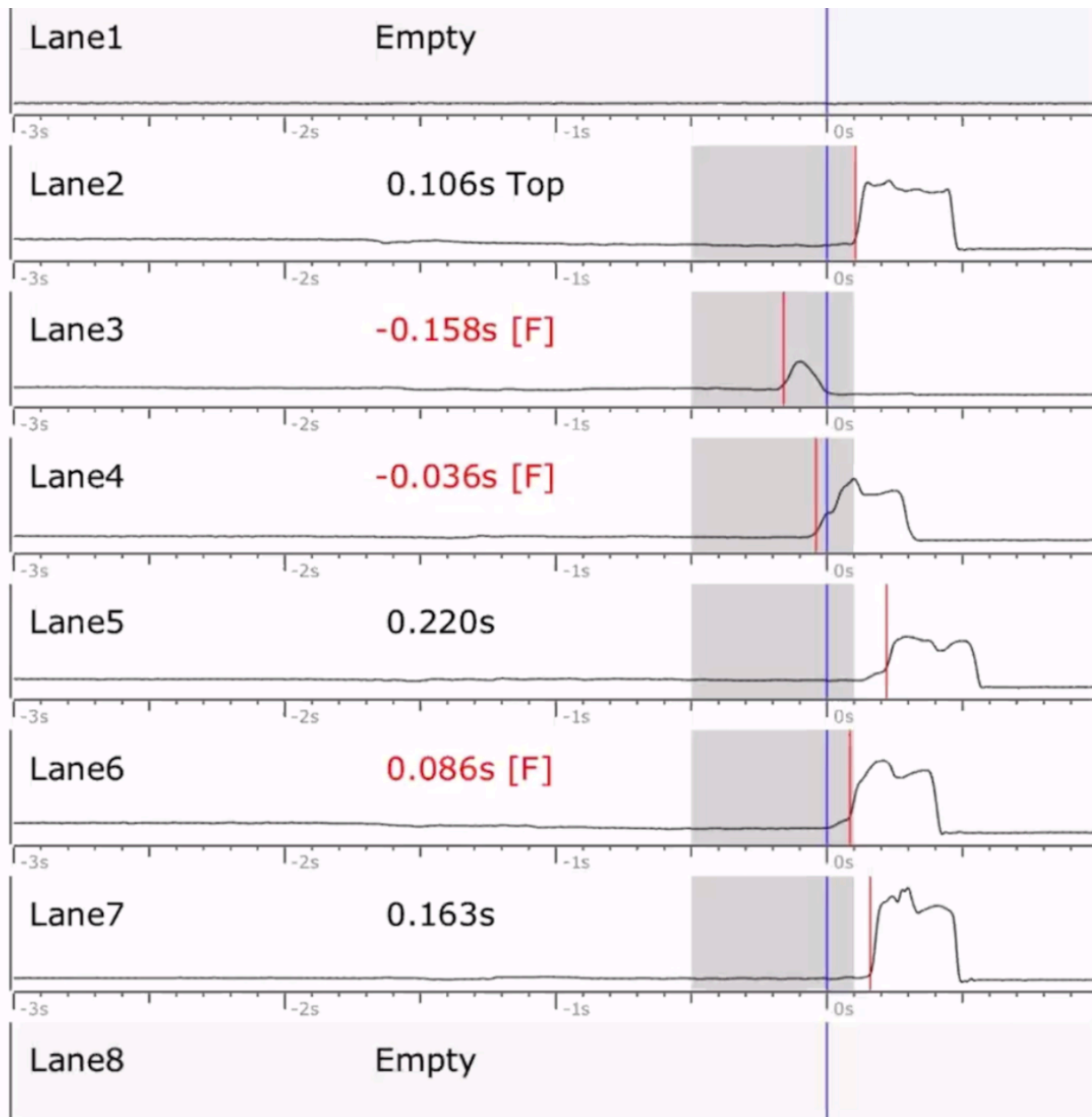
スタート審判長は、スターターがスタートを中断した後、またはSISが自動的に（オートリコールで）選手を呼び戻したときに、他の何も邪魔をしない（時には非常にわずかな）ことで選手に警告をしている。

事例 RTと波形図

- ・ 4レーンの動きは3レーンの動きによるもの
 - ・ 6レーンの動きは4レーンの動きによるもの
- と考えることもできる。

現場でこのようにジャッジした場合には3レーンにYC

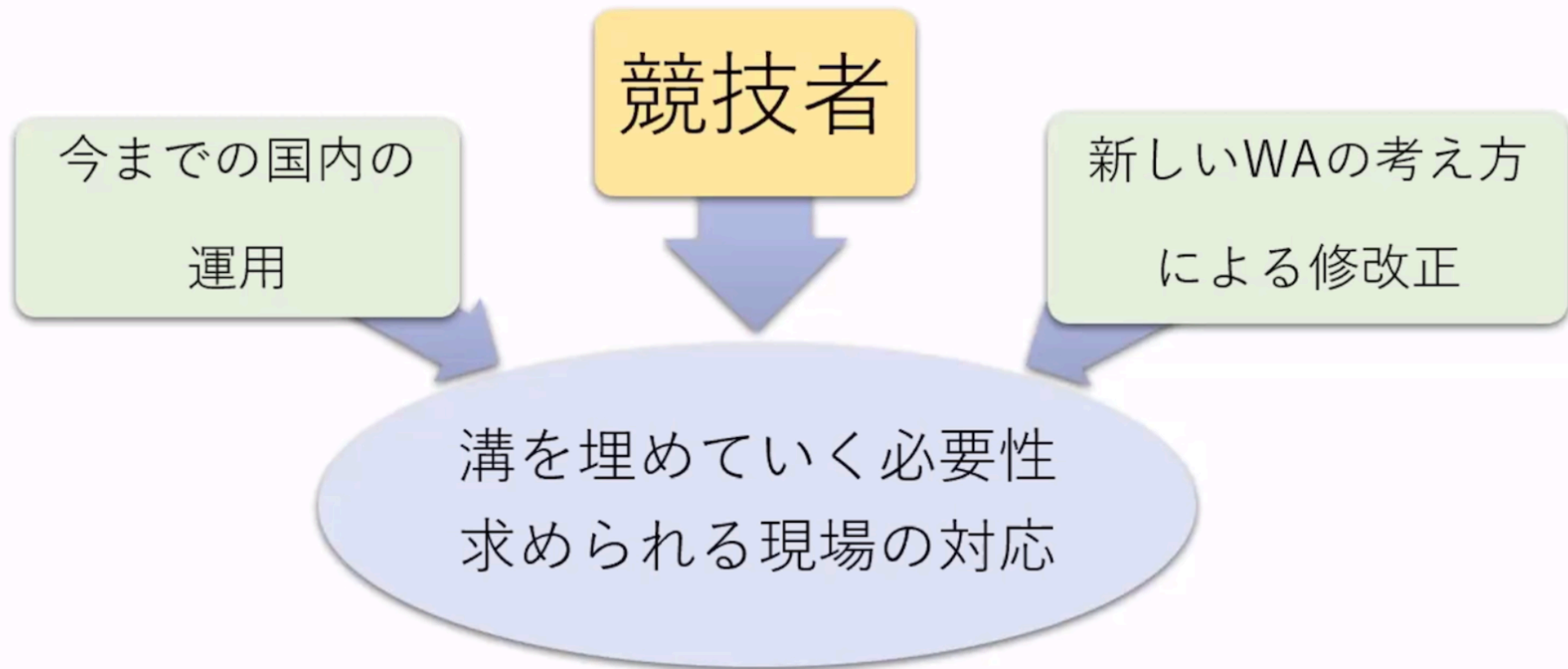
不正スタートの原因は本人なのか、周りの何かなのか。それを現場の審判員は判断しなければならない。



WAに問い合わせた内容と回答

- 局所的な動き（や微細な動き）があっても静止を確認し号砲することによいか？
 - ⇒ **世界選手権では同様の対応。WA側はその判断を支持する。**
不正スタートや懲戒事項(TR16.5)につながる動きがなければ、
レースを中断したり撃ち戻したりしない。
- 不正スタートではないが、オートリコールが作動するような大きな動きは、それにつられた競技者がいなくてもYCとなるか？
 - ⇒ **YCは他の競技者のスタートに真に影響を与えたときのみ。**
SISを使用していなくても同様の対応。
- その場合グリーンカードでの対応でいいのか？
 - ⇒ 「**Probably yes.**」 恐らくその可能性もある。

局所的な動きについて TR16.5.3



スターター研修会を実施 2024.2.3

スターター研修会での質問

- **局所的な動きや腰を上げた後に下げて止まるのは今までやり直しをしていたが？** → **やり直さず静止を確認した時点で号砲**
- 他の競技者に悪影響が出そうなほど静止に時間がかかるときは？ → 立たせてTR16.5.2遅延行為として注意またはYCもあり
- Setから号砲までの最適な時間は何秒？ → 静止を確認した瞬間が撃つタイミング、全員が静止するのにかかる時間はレース毎に異なる（規則TR16.3グリーンノート参照）
- On your marks後の気合を入れる等の大声は？ → 問題ない

TR16.5.3 修改正後の運用について

●撃ち戻されるスタートは

- ①不正スタート（または不正スタートの疑い）があったとき
- ②ある競技者が動き、他の競技者が不正スタートを生じさせたとき
- ③オートリコールが作動したとき
- ④外的要因があったとき（機材不具合/雑音/スタブロが滑った等）

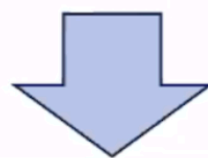
○撃ち戻さないケース

局所的な動きや腰・頭の上下動あっても、その後の号砲時には静止していた場合

TR16.5.3 修正後の運用について

TR16.5.3でYCが出されるのは

今までは、局所的な動きや腰の上下動でYC



他の競技者を妨害し、その結果、その選手が他の
競技者の不正スタートを生じさせた時だけYC
となる